

# 九州経済最前線2013春

## 大分県



**新エネ産業を育成**

大分県は集積が集積を産む企業説に加えて、次代を担う新たな産業の育成に取り組んでいます。再生可能エネルギーの供給量、自給率がともに日本一といふ特性を生かし、関連する技術開発や事業参入を加速させてい

る。

古川 康知事

## 佐賀県



**国際ビジネスを支援**

「拓く」。この言葉には必要な変化をためらわず、時代を地域を開いていくことが、未来を拓くことにもつながるという強い意志を込めた。

2013年のキーワードは「成長著しいアジアの活力を取り込みます」。県の成長はないものと考え、佐賀県初の海外拠点を2011年に設置した。さらに、県内企業の国際ビジネスの支援拠点を佐賀市を中心とした街に14年完結予定のビルにオープンさせた。また上海との格安航空会社(LCC)による路線開設1周年を迎えた。さらに新たに韓国へも進み、今後は医療技術者育成による温泉熱や小水力による発電装置の開発に加え、大手企業も本県の環境を生かして国内最大級のメガソーラー(大規模な太陽光発電所)の建設を進めて

## 福岡県



**総合特区を起爆剤に**

環境を軸に「アジアから世界に展開する産業拠点の形成を目指す「グリーンアジア国際戦略総合特区」の指定から1年が経過した。この間、既存の支援措置に加

えて、企業立地交付金の上乗せや不動産取得税・固定資産税の課税免除など、地域独自の支援策を充実してきた。さらに2012年8月、県南部の久留米市や大牟田市、筑豊地域の直方市など、特区の面積も当初指定の3~5倍に大きく拡大した。現在、特区の支援制度を活用

しているだけでも、300億円の投資が予定されている。今後も産学官一体となって特区を推進し、一つでも多くの事業・プロジェクトを具現化させていき、特区を起爆剤として福岡県、そして日本を元気にしていく。

安倍晋三政権が進める経済政策アベノミクスが好感され、景気回復への期待感が高まる中、九州でも動きが現れた。特に設備投資の増加や太陽光発電所の建設、海外観光客の誘致などが示された。足元の景気はまだと云ふ声は少ないものの、政府や自治体による有効な成長戦略が示されれば、この動きはさらに加速するはず。そこで九州7県の知事に景気回復に向けた各県の産業振興策を聞いた。

## 九州7県知事メッセージ

### イチ押し 産業振興策

## エネ産業振興に注力

熊本県は未来型エネルギーのトップランナーとして新エネ、省エネ先進県を目指し、2012年10月、全国に先駆けて、「熊本県総合エネルギー計画」を策定した。

計画では四つの施策の柱として、①県民総ぐるみによる「省エネ」、②県民総ぐるみによる「省エネ」、③災害エネルギーの導入量と、省エネによるエネルギー削減目標とし、県民総ぐるみで取り組みを推進する。

## 熊本県



蒲島 郁夫知事

## 海洋産業の拠点づくりを

長崎県は島域に広大な海域を有する海沿県であり、長崎市、西海市に立地する大規模な造船所をはじめ、造船関連企業が集積する日本有数の造船県である。この造船業の集中区を国に申請した。13年2月15日につなげていく。また海洋エネルギー分野において、造船業で培った高い技術を生かし、海洋エネルギー実証フィールドの誘致整備はじめ、実用化商

海洋産業の拠点づくりを進めている。このため、復興から新たな成長への道を切り拓いていく。これらの国際化や次世代産業関連により、本県の未来を切り拓いていく。

中村 法道知事

## 食ビジネス積極展開

宮崎県は人口密度をはじめとする相次ぐ災害により、地域経済は大きな影響を受けた。だが2012年の全国和牛能力共進会では宮崎牛が2年連続日本一になった。さらに東九州自動車道が開通したことから、その実現にまい進していく。新エネルギー関連で海上陸上のエネルギー関連のみならず、洋上風力、潮流など洋上風力開発を行い、新たな道を切り拓いていく。これらの国際化や次世代産業関連により、本県の未来を切り拓いていく。

河野 俊嗣知事

## 宮崎県



**食の加工技術施設を整備**

宮崎県と連携し、「東九州メディアカルバレー構想」が進行。企業と連携して大分大学に設けた「臨床医学講座」をはじめ、県内中小企業の活躍が欠かせない。現在、中小企業の発展、成長を目指し、中小企業活性化条例の3月中旬の制定に取り組んでい

る。さらに医療機器関連産業では、宮崎県と連携し、「地域活性化総合特区」の指定を受けた「東九州メディアカルバレー構想」が進行。企業と連携して大分大学に設けた「臨床医学講座」をはじめ、県内中小企業の活躍が欠かせない。現在、中小企業の発展、成長を目指し、中小企業活性化条例の3月中旬の制定に取り組んでい

## 長崎県



**海洋産業の拠点づくりを**

長崎県は島域に広大な海域を有する海沿県であり、長崎市、西海市に立地する大規模な造船所をはじめ、造船関連企業が集積する日本有数の造船県である。この造船業の集中区を国に申請した。13年2月15日につなげていく。また海洋エネルギー分野において、造船業で培った高い技術を生かし、海洋エネルギー実証フィールドの誘致整備はじめ、実用化商

海洋産業の拠点づくりを進めている。このため、復興から新たな成長への道を切り拓いていく。これらの国際化や次世代産業関連により、本県の未来を切り拓いていく。

中村 法道知事

**宮崎県**



**食の加工技術施設を整備**

宮崎県は人口密度をはじめとする相次ぐ災害により、地域経済は大きな影響を受けた。だが2012年の全国和牛能力共進会では宮崎牛が2年連続日本一になった。さらに東九州自動車道が開通したことから、その実現にまい進していく。新エネルギー関連のみならず、洋上風力、潮流など洋上風力開発を行い、新たな道を切り拓いていく。これらの国際化や次世代産業関連により、本県の未来を切り拓いていく。

河野 俊嗣知事

## 熊本県



蒲島 郁夫知事

## 海洋産業の拠点づくりを

長崎県は島域に広大な海域を有する海沿県であり、長崎市、西海市に立地する大規模な造船所をはじめ、造船関連企業が集積する日本有数の造船県である。この造船業の集中区を国に申請した。13年2月15日につなげていく。また海洋エネルギー分野において、造船業で培った高い技術を生かし、海洋エネルギー実証フィールドの誘致整備はじめ、実用化商

海洋産業の拠点づくりを進めている。このため、復興から新たな成長への道を切り拓いていく。これらの国際化や次世代産業関連により、本県の未来を切り拓いていく。

中村 法道知事

**食ビジネス積極展開**

宮崎県は人口密度をはじめとする相次ぐ災害により、地域経済は大きな影響を受けた。だが2012年の全国和牛能力共進会では宮崎牛が2年連続日本一になった。さらに東九州自動車道が開通したことから、その実現にまい進していく。新エネルギー関連のみならず、洋上風力、潮流など洋上風力開発を行い、新たな道を切り拓いていく。これらの国際化や次世代産業関連により、本県の未来を切り拓いていく。

河野 俊嗣知事

**鹿児島県**



**食の加工技術施設を整備**

鹿児島県は人を元気にする本物の素材「あぶれい」にふれて、品関連産業は農業とともに本県に新たな加工、流通技術の研究開発を行い、加工業者が行う加工品の試作・研究開発や販路拡大などを支援する加工技術拠点を整備する。この施設を核に要素を提供型の農業の成長産業の育成強化を加速させる。

伊藤祐一郎知事

## 鹿児島県



**食の加工技術施設を整備**

鹿児島県は人を元気にする本物の素材「あぶれい」にふれて、品関連産業は農業とともに本県に新たな加工、流通技術の研究開発を行い、加工業者が行う加工品の試作・研究開発や販路拡大などを支援する加工技術拠点を整備する。この施設を核に要素を提供型の農業の成長産業の育成強化を加速させる。

伊藤祐一郎知事

**宮崎県**



**食の加工技術施設を整備**

宮崎県は人口密度をはじめとする相次ぐ災害により、地域経済は大きな影響を受けた。だが2012年の全国和牛能力共進会では宮崎牛が2年連続日本一になった。さらに東九州自動車道が開通したことから、その実現にまい進していく。新エネルギー関連のみならず、洋上風力、潮流など洋上風力開発を行い、新たな道を切り拓いていく。これらの国際化や次世代産業関連により、本県の未来を切り拓いていく。

河野 俊嗣知事

## 長崎県



**食の加工技術施設を整備**

宮崎県は人口密度をはじめとする相次ぐ災害により、地域経済は大きな影響を受けた。だが2012年の全国和牛能力共進会では宮崎牛が2年連続日本一になった。さらに東九州自動車道が開通したことから、その実現にまい進していく。新エネルギー関連のみならず、洋上風力、潮流など洋上風力開発を行い、新たな道を切り拓いていく。これらの国際化や次世代産業関連により、本県の未来を切り拓いていく。

河野 俊嗣知事

## 熊本県



**食の加工技術施設を整備**

宮崎県は人口密度をはじめとする相次ぐ災害により、地域経済は大きな影響を受けた。だが2012年の全国和牛能力共進会では宮崎牛が2年連続日本一になった。さらに東九州自動車道が開通したことから、その実現にまい進していく。新エネルギー関連のみならず、洋上風力、潮流など洋上風力開発を行い、新たな道を切り拓いていく。これらの国際化や次世代産業関連により、本県の未来を切り拓いていく。

河野 俊嗣知事

## 鹿児島県



**食の加工技術施設を整備**

宮崎県は人口密度をはじめとする相次ぐ災害により、地域経済は大きな影響を受けた。だが2012年の全国和牛能力共進会では宮崎牛が2年連続日本一になった。さらに東九州自動車道が開通したことから、その実現にまい進していく。新エネルギー関連のみならず、洋上風力、潮流など洋上風力開発を行い、新たな道を切り拓いていく。これらの国際化や次世代産業関連により、本県の未来を切り拓いていく。

河野 俊嗣知事

## 長崎県



**食の加工技術施設を整備**

宮崎県は人口密度をはじめとする相次ぐ災害により、地域経済は大きな影響を受けた。だが2012年の全国和牛能力共進会では宮崎牛が2年連続日本一になった。さらに東九州自動車道が開通したことから、その実現にまい進していく。新エネルギー関連のみならず、洋上風力、潮流など洋上風力開発を行い、新たな道を切り拓いていく。これらの国際化や次世代産業関連により、本県の未来を切り拓いていく。

河野 俊嗣知事

## 熊本県



**食の加工技術施設を整備**

宮崎県は人口密度をはじめとする相次ぐ災害により、地域経済は大きな影響を受けた。だが2012年の全国和牛能力共進会では宮崎牛が2年連続日本一になった。さらに東九州自動車道が開通したことから、その実現にまい進していく。新エネルギー関連のみならず、洋上風力、潮流など洋上風力開発を行い、新たな道を切り拓いていく。これらの国際化や次世代産業関連により、本県の未来を切り拓いていく。

河野 俊嗣知事

## 鹿児島県



**食の加工技術施設を整備**

宮崎県は人口密度をはじめとする相次ぐ災害により、地域経済は大きな影響を受けた。だが2012年の全国和牛能力共進会では宮崎牛が2年連続日本一になった。さらに東九州自動車道が開通したことから、その実現にまい進していく。新エネルギー関連のみならず、洋上風力、潮流など洋上風力開発を行い、新たな道を切り拓いていく。これらの国際化や次世代産業関連により、本県の未来を切り拓いていく。

河野 俊嗣知事

## 長崎県



**食の加工技術施設を整備**

宮崎県は人口密度をはじめとする相次ぐ災害により、地域経済は大きな影響を受けた。だが2012年の全国和牛能力共進会では宮崎牛が2年連続日本一になった。さらに東九州自動車道が開通したことから、その